

令和5年度 第3学年 学年経営計画

学年経営目標

『みどりの芽・みどりの木・みどりの森』

※自分自身の芽を育てよう・空を目指す一本の木になろう・未来への応援歌の響く森を作ろう

学年目標

- み 未来へ向かって楽しく勉強に打ち込もう（叡智）
- ど どんな時も自ら考え行動しよう（自治）
- り 理解し合い共に前に進もう（共生）
- の のびのびと身体を育てよう（健康）
- 森 未来への応援歌の響く森を作ろう（三年生）

具体的な目標と取組み

項目	目標	（目標を達成させるための） 具体的な取組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○授業規律の確立 ○自主的、計画的な学習の推進 ○家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席の徹底。・授業態度（聞く姿勢）の指導の徹底。 ・定期考査前の学習計画表の作成指導と実施チェック。 ・質問教室や補習教室の実施。・宿題や提出物の指導。 ・自学自習ノートの推進。家庭学習週間の実施。
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え議論する力や、他者の考えや気持ちを受け入れる力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳資料を活用して少人数での話し合いや一人ひとりの発表の時間を多く設定。
キャリア教育 （進路学習）	<ul style="list-style-type: none"> ○進路を決定する態度の育成 ○自ら課題を見つけ、主体的に思考、判断する能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の将来の生き方について考えを深めさせる。・自らの個性を理解し主体的に自己の進路選択を行えるよう支援する。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ○規範意識の育成 ○協調性、責任感の育成 ○いじめの未然防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間厳守の徹底（生活時間や提出物等）。・挨拶、服装、言葉遣い等の基本的生活習慣の定着。・係、委員会、班活動を通したリーダーの育成。・学級活動、当番活動、班活動の活性化。 ・アンケートや個別面談の実施。全職員による、生徒との活動（給食準備、清掃、行事による練習等）の充実。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○学年、学校行事の充実 ○部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的、意欲的に参加させ、達成感、充実感、クラスへの貢献意識を体験できるよう支援。・部活動に積極的に参加させ、他学年同士のコミュニケーションや責任感、団結の育成。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的な情報発信 ○細やかな連絡や情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年通信による細やかな情報発信。・生徒の学習や生活に関する情報交換を迅速に行い、支援体制を保護者と共に考えるなど家庭との連携を大切にする。

第3学年 A 組

学級担任 大野 雄生

1 学級経営目標

- 「あ（挨拶）・じ（時間厳守）・み（身だしなみ）・こ（言葉遣い）・し（姿勢）」を一人一人が意識し、前向きな姿勢をもった規律あるクラスを目指す。
- 自分と相手を大切にし、個性を受け入れ、様々な場面で支え合えるクラスを目指す。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

「 OH! NO! YUKI! 」

Y…youth（青春） U…unipue（個性） K…kind（優しさ） I… I Love Yuki

3 具体的な目標と取組み

項目	目標	（目標を達成させるための） 具体的な取組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の課題を把握し、地道に努力を重ねる過程で一步步解決できる。 ○自主学習に意欲的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> • 日々の会話や連絡帳をとおしてコミュニケーションをとり、助言や励ましなど個別に支援を行う。 • 自学自習ノートを有効に活用させる。
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ○自分を見つめる機会の一つとし、自己理解を深めさせる。 ○他者との違いを受け入れられる心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 読み取りやグループ学習をとおして、自分の考えを客観的に捉えさせ、自己理解のきっかけとする。 • グループ学習での意見交換などをとおして、価値観の多様性と尊厳を理解させ、他者を尊重する心を育てる。
キャリア教育 （進路学習）	<ul style="list-style-type: none"> ○進路選択を見据えて、情報収集を積極的に行い、実現に向けて積極的に行動し、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> • これまでの定期考査などの経験から学んだ計画的に取り組む必要性と重要性を理解させ、実践させる。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ○規律を守り、後輩の手本となれる集団を作ろうとする姿勢を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の役割と責任について声掛けを徹底することで自分の言動を意識させ、互いを律し合い、高め合える環境を整える。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の役割と責任を果たせる人になる。 ○行事に精一杯取り組むクラスになる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自分のすべきことへの意識を徹底するよう、声掛けを徹底する。 • 得意・不得意があることを理解させた上で、実行委員を中心に皆で声を掛け合い、協力し合える環境を作る。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の学校生活での成長や気づきをこまめに連絡し、共に育てる意識や今後の目標などの方針を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電話連絡を基本として連絡を取るとともに、定期的に学年通信を発行して情報を共有する。

第3学年B組

学級担任 小池 純代

1 学級経営目標

- 仲間の個性を認め合い尊重し合える学級。
- 将来に向けて、自己実現を目指そうとする学級。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

三年B組 小池先生 人 ～ みんなで支えあうクラス～

3 具体的な目標と取組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取組み
学習指導	○計画的に学習に取り組ませる。 ○教室整備をし、学習しやすい環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査前には計画表を作成させ、学習の見通しをもたせる。 ・ユニバーサルデザインを取り入れた教室環境をつくる。
道徳教育	○他者の多様な意見や考えを受け入れ認め合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業では自分の考えをより深めるための時間を十分にとり、それを伝えるための話し合い活動の時間を多くとる。またICTを活用し、分かりやすい授業づくりをする。
キャリア教育 (進路学習)	○主体的に自分の進路を切り開いていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路の資料を分かりやすく整理し情報提供をする。 ・家庭でたくさん話をしてもらい機会をつくってもらおう。
生活指導	○自分の言動に責任をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言動がまわりにどのように影響を与えるのか想像させる。
特別活動	○自主的に学校行事に取り組ませる。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのリーダーを中心に学校行事に取り組むことができるように支援する。
保護者との連携	○連絡を密に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動を進めるためには保護者と学校が共に協力する必要がある。保護者会でそのことを伝え、保護者からは気になることがあれば気軽に連絡してもらえよう信頼関係を築いていく。

第3学年C組

学級担任 保科 太郎

1 学級経営目標

- 自分たちで行動し、クラスで決まった事に対して全員で協力し、助け合えるクラス
- どんな時も授業を大切にし、自分自身の進路実現の為に努力できるクラス
- 「卒業」のその日まで仲間の事を大切にし、最後まで笑っていられる居心地の良いクラス

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

「点晴したらたろうだった件」～最高超えて最強の目となる者たち

3 具体的な目標と取組み

項目	目標	（目標を達成させるための） 具体的な取組み
学習指導	○授業中、集中して取り組む姿を育てる。 ○自分で内容を考えて自学自習ノートに取り組む姿を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科系の指示、事前伝達の徹底。学活の規律の徹底。 ・教室内で分からない事を教え合える雰囲気づくりを大切にする。
道徳教育	○他の人の意見、考えを認め、自分の意見や考えを発表できる生徒を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝え合ったり、クラスメイトの意見を聞いたりする場面を多く設定する。 ・グループワークを通してさまざまな意見に触れるきっかけを作る。
キャリア教育 （進路学習）	○自身の将来をについて主体的に考えることができる生徒を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のことを考えたり、見つめなおしたりする機会を多く設ける。 ・自分の「進路」について相談しやすい環境をつくる。
生活指導	○仲間や周りに気を配り、ルールを守ることができる生徒を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・給食指導、帰りの会で規律を徹底させる。また、できていない場合はやり直しをさせる。
特別活動	○主体的に取り組み、達成感を味わわせる	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会、係、日朝などの当番活動を、責任をもって取り組ませる。
保護者との連携	○信頼関係を築き、協力して生徒の成長をサポートできるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員との連携を深め、生徒の情報収集を行う。 ・学級と家庭との連絡を密にする。

第3学年D組

学級担任 鈴木 大貴

1 学級経営目標

- 課題を見だし、解決・改善に向かうために、考え行動する力を育む。
- 自分の考えをもち、主体性をもって物事に取り組む力を育む。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

どんなときも 努力して 団結力のあるクラス （3D）

3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	（目標を達成させるための） 具体的な取り組み
学習指導	○基礎学力を定着させる。 ○主体的・自主的な学習の習慣をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> •理解できていないところを明確にし、的確に問題を解決する方法を身に付けるための支援をする。 •自学自習ノートを活用する。
道徳教育	○自ら考え他者と議論を交わすことで、規範意識や道徳性を高める。	<ul style="list-style-type: none"> •ねらい、内容項目を明記し、考える時間を十分に確保する。 •グループでの話し合い活動や、意見を発表する場を設ける。
キャリア教育 （進路学習）	○将来の自分について考えを深め、自分の進路を考え決めようとする姿勢をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> •進路学習を通して、自分自身のことについて考え、具体的に表現する活動を多く取り入れる。
生活指導	○自分の行動や発言に責任をもつ。 ○日々の人との関わりを大切にす る。	<ul style="list-style-type: none"> •生徒の様子をよく見て、生徒の言葉をよく聞く。 •普段の会話や連絡帳等を活用して、コミュニケーションをとる。
特別活動	○物事に主体的に取り組み、課題を見いだすことで、学校生活をよくしていこうとする姿勢をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> •委員会活動、係活動、部活動を通して、役割を果たすことの重要性や組織の一員としての自覚を意識させる。
保護者との連携	○家庭との信頼関係を築き、ともに見守り育てていく環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> •日頃の連絡等による情報交換で、支援体制を家庭とともに整える。

第3学年 E 組

学級担任 川嶋 慶子

1 学級経営目標

- 仲間を思いやり、他人の立場を尊重しあえるクラス
- 素直な心で物事に接し、善悪の判断ができるクラス
- 時間を守る、忘れ物をしないなど、当たり前なことを当たり前に行えるクラス

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

㊦りあえず ㊦んなで ㊦かよく ㊦んばろう

3 具体的な目標と取組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取組み
学習指導	○学習の規律を徹底させ、生徒一人一人が学びに向かう姿勢をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業準備がきちんと行えるよう、連絡帳を毎日書かせ、チェックする。 ● 始業前の学活、帰りの会などで落ち着いた雰囲気を作る。
道徳教育	○自らの考えを相手に伝え、自分とは異なる考え方に対しても受け入れ、大切にできる心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の考えを伝え合ったり、クラスメイトの意見を聞いたりする場面を多く設定する。 ● 生徒が考え、議論する時間を大切にすると共に、実生活に即した授業作りを心がける。
キャリア教育 (進路学習)	○一人ひとりが自己の将来について考え向き合う時間を多くとり、納得のいく進路選択ができるようにサポートする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学活や総合の時間を活用して進路選択についての話をし、進路について考える時間を作る。 ● 普段の生徒との会話を大切にし、その中で1人1人と将来について話をする。
生活指導	○時間を共有して生徒理解を深め、生徒一人一人に合った指導を心がける。	<ul style="list-style-type: none"> ● できるだけ生徒といる時間を多くし、生徒の小さな変化にも声をかける。また、他の教員との連携を密にして、様々な場面での生徒の様子を把握する。
特別活動	○生徒が主体的に取り組み、達成感を味わえるような活動をさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員会、係、日直などの当番活動を、責任をもって取り組ませる。 ● 生徒どうしの関係を根幹とした学級を目指し、日頃の話し合い活動や係活動で集団としての取り組みを高める。
保護者との連携	○報告・連絡・相談を徹底し、協力して生徒の成長をサポートできるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学級と家庭との連絡を密にし、学校と家庭が同じ方針で生徒の成長を見守れるようにする。

第3学年F組

学級担任 菅野 亮介

1 学級経営目標

- 全員がクラスへの帰属意識と参画意識をもち、協働し、共に歩いていける学級。
- やるべきことの優先順位を考え、指示を待たずに主体的に行動できる学級。
- 誰もが居心地の良い空間となるよう互いの個性や状況が理解できる学級。
- 授業、行事、受験、何事もチームF組で取り組める学級。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

りょうこうな関係で うまくいなくても すてきな笑顔で けっそくしよう

3 具体的な目標と取組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○提出物、単元テスト、小テストに真剣に取り組む。 ○積極的に発言ができ、活発な授業の取組みをする。 ○自主学習に意欲的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の授業の情報を朝と帰りの学活の時間に毎日学級全体で共有する。 ・班活動や学級討議で一人一人が意見を述べる場を設定する。 ・自学自習ノートを各自のペースで年間を通して取り組むことを徹底する。
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な考えがあることを知り、相手の考えを認めることのできる態度を養う。 ○様々な視点から物事を考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの意見交換を活発に行う。 ・肯定、否定についての態度の在り方を考えさせる。 ・自己の振り返りを毎授業で行う。
キャリア教育 (進路学習)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分自身で進路決定ができ、希望の進路を実現するための努力ができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な受験への見通しを提示する。 ・具体的な受験に関する情報を提示し、いつまでに、何を、どれくらいを共に考える。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ○集団生活するための規律ある生活を自分たちで行えるようにする。 ○常に環境美化に努め、安心できる落ち着いた空間にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム前着席、挨拶の徹底などクラスの規律を学級委員を中心に考え、振り返る場をつくる。 ・ロッカーや身の回りの整理整頓、教室美化の徹底。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○担当の仕事に責任をもって主体的に取り組む姿勢を養う。 ○一生懸命に取り組むことが楽しいことを実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会、係の仕事、班活動など役割、担当する仕事内容を明確にする。 ・行事に対して真剣に、前向きに取り組む環境を整える。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を的確に発信し、開かれた学級を目指す。 ○保護者と連携して生徒の成長を後押しする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話連絡等で、情報交換を行う。 ・学年教員、SC、支援員と連携し、多角的に生徒の様子を捉え、保護者との情報交換を行う。